

東京2020パラリンピック「埼玉県のパラリンピック聖火」

寄居町でおこした火が**パラリンピック聖火**になりました！

採火セレモニー

8月18日、鉢形城歴史館で寄居町の採火セレモニーを開催し、当日は小学生の児童と保護者6組が参加され「まいぎり式」と呼ばれる方法で「埼玉県のパラリンピック聖火」の元となる火を採火しました。参加者は「大変だったけど、楽しかった」、「自分のおこした火が聖火になるのはうれしい」と笑顔で話してくれました。



集火式



8月19日に、朝霞中央公園陸上競技場で東京2020パラリンピック聖火フェスティバル「埼玉県集火式」が開催されました。この集火式は、寄居町を含む県内17市町村で採火された火を、ひとつに集火し「埼玉県のパラリンピック聖火」を生み出す式典です。寄居町からは花輪町長が参加し、前日に寄居町の採火セレモニーでおこした火を炬火台に灯しました。

「埼玉県のパラリンピック聖火」は、東京都に送り出され、パラリンピック発祥の地、イギリスのストーク・マンデビルと47都道府県から集まったそれぞれの聖火と共にひとつとなり、東京2020パラリンピック聖火が誕生しました。

聖火ビジット

聖火ビジットとは、集火式で生み出された「埼玉のパラリンピック聖火」をランタンに分火し、各自治体で展示を行うものです。寄居町でも展示を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役場での展示は中止となりました。その代替わりとして、ランタンに分火された「埼玉のパラリンピック聖火」の様子を動画にし、町公式Twitterで公開しました。

※動画の公開は終了しました。



☎生涯学習課(☎581・2121内線531)